

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和元年度)

2. 分野別状況(1)国際戦略総合特区(2/7)

| | 総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算) | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | 総合評価に係る専門家所見(主なもの) |
|---|-----------------------------|--|--|-----------------------|---|
| | | 目標に向けた取組の進捗 | 支援措置の活用と地域独自の取組の状況 | 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決 | |
| アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区 (愛知県、岐阜県、三重県、長野県、静岡県、名古屋市等) | 4.5 | 4.1 進捗度 ・中部地域における航空宇宙関連の工場等の新增設件数 159% ・中部地域における航空宇宙産業の生産高 100% ・中部地域における航空機・部品の生産高 100% 等 | 4.6 規制の特例等 ・工場等新增設促進事業 等 財政支援等 ・総合特区設備等投資促進税制 ・総合特区支援助利子補給金 等 地域独自の取組 ・21世紀高度先端産業立地補助金 等 | 4.7 | <ul style="list-style-type: none"> 既存の支援制度と規制の特例措置を活用し、着実な事業の成果につながっていることは高く評価される。 新型コロナウイルス感染拡大の影響で航空産業では受注量が激減しているが、今後はその影響も加味して評価する必要がある。 地域の総合的な取組について、現状の俯瞰と今後の展開について整理して情報発信するとよい。 代替指標による評価が多いと進捗の評価が適切に行われないおそれもある。特に、数値目標(1)については(2)と同じ指標で代替するのではなく、独立の指標の検討による進捗の評価が必要。 |